

平成29年度当初予算（案）
重点取組方針関連事業

《1 地域や本県産業を担う人材の育成》

- ① 市町立小・中学校で100%の設置を達成したコミュニティ・スクールと「地域協育ネット」を一体的に推進する「やまぐち型地域連携教育」の取組の更なる充実を図るとともに、県立学校へのコミュニティ・スクールの導入を進め、社会全体で子どもの育ちを支える環境づくりを一層推進

【拡】やまぐち型地域連携教育強化推進事業

52,907

コミュニティ・スクールが核となり、地域協育ネットの仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組を充実させることにより、「地域教育力日本一」の推進を図ります。

【新】やまぐち型地域連携教育推進協議会の開催

各学校・地域において質の高い取組が行われるよう、県施策の充実や学校の取組改善を協議

[委員構成] 各市町推進協議会代表、学識経験者、小中校長会代表、市町教育長代表 等

《プロジェクト部会の設置》

下部組織として「研修部会」「人材育成部会」「啓発部会」の3部会を設置し、課題に対する具体的な方策について重点的に協議

■^{コミスク}山口CSコンダクターの19市町教委への配置

各学校運営協議会や小・中学校合同の学校運営協議会、管理職等への助言・支援

※うち、実績のある2名を統括コンダクターとして各市町へ派遣し全体の資質向上を図る。

[配置] 13市、周防大島町及び熊毛郡3町（兼務）に各1名

(計15名、和木町及び阿武町は近隣市の山口CSコンダクターが兼務)

■コミュニティ・スクール担当者、「地域協育ネット」担当者及び山口CSコンダクター合同会議の開催

■やまぐち地域連携教育の集いの開催（県内7地域）

各地域で開催し、多くの保護者や地域住民が「やまぐち型地域連携教育」への理解を深める

[参加者] 地域住民、保護者、教職員、コーディネーター、山口CSコンダクター 等

[実施内容] 実践発表、講演、熟議 等

【新】ふるさとを愛する心の育成

子どもたちが、ふるさとの自然、歴史、伝統文化等に関する学習を深めることを通じて、ふるさとを愛する心の育成や、地域の担い手としての意識の高揚を図るとともに、各地域の代表校が、地域の特色を生かした取組をやまぐち地域連携教育の集いにおいて発表

■やまぐち型地域連携教育実践事例集の作成

■家庭教育支援体制の充実に向けた取組

子育てに不安や悩みを持つ全ての家庭に十分な支援が行えるよう、やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かし、「家庭教育支援チーム」の設置促進や訪問型支援を実施

○【新】福祉部局との連携による合同研修会

福祉部局や子育てサークル等との連携による一体的な取組等について協議

○家庭教育アドバイザー、「地域協育ネット」コーディネーター向け各種講座の開催

○訪問型家庭教育の支援（先駆的家庭教育支援推進事業）

・訪問型家庭教育支援に向けた体制の構築

・地域における訪問型家庭教育支援の実施

[実施内容] 訪問による相談対応や情報提供 2市（宇部市、岩国市）

地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支えるため、学校・家庭・地域の連携・協働による全中学校区での教育支援体制（地域協育ネット）を活用した教育支援活動等の一層の充実を図ります。

■「地域協育ネット」体制構築 【実施主体：市町】

○「地域協育ネット」協議会（全中学校区に設置）の運営補助

[役 割] 活動計画の策定、支援活動の企画・運営、支援員の登録

[委員構成] 統括コーディネーター、学校、PTA、行政、地域関係団体等

○統括コーディネーターの配置

[役 割] 学校・家庭・地域の課題・ニーズの把握、教育支援活動を実施するための連絡調整 等

■「地域協育ネット」活動支援 【実施主体：市町】

○学校等を拠点とした教育支援活動事業

[活動内容] 授業や放課後等の学習支援、学校行事・地域行事の支援、学校等の環境整備、部活動支援 等

○家庭教育支援事業

[活動内容] 家庭教育講座支援、家庭教育サロン支援、相談活動支援 等

■放課後子ども支援事業 【実施主体：市町】

[実施内容] ・余裕教室等を活用した放課後の子どもの学習、体験・交流活動等の支援
・放課後児童クラブ（学童保育）との連携

■土曜日の教育活動支援事業 【実施主体：市町】

[実施回数] 年間10日程度

[実 施 例] エンジニアによる算数講座、在外経験者による英会話、ふるさと学習塾 等

■全県的な推進体制の強化等 【実施主体：県】

○市町の取組支援

[事業内容] 高校生の参画促進、市町訪問等による指導助言

○研修会の開催

[事業内容] ・コーディネーター養成講座（年8回）

・家庭教育アドバイザー養成講座（年8回） 等

○地域社会と連携した高校生スキルアップ事業

[実施回数] 年間10日程度

[実 施 例] 論理的・批判的思考力養成講座、和太鼓を活用した文化発信講座 等

○「地域協育ネット」の広報

[事業内容] ・テレビ番組「はつらつ山口っ子」で活動状況等を広報

・啓発リーフレットの作成

新 高校コミュニティ・スクール推進事業

6,500

県立高校におけるコミュニティ・スクールを拡充し、学校・地域の社会的・地域的な課題の解決に積極的に取り組むことにより「地域に愛され、地域とともにある学校づくり」を推進します。

■コミュニティ・スクールの新規導入

[実施校] 導入済みの3校に加え、4月から高校等13校に導入
[取組内容] 学校運営協議会を設置し、地元地域や大学・企業等の関係機関との協働体制を確立（学校、市町、中学校、地域住民、大学、企業等）

《テーマ型コミュニティ・スクールの実施》

地元地域に限定することなく、幅広く各テーマに関する高い知見や専門性を有する大学や企業等と連携し、テーマに応じて課題解決に取り組む。

■先行導入した3校の取組充実・発展

[実施校] 周防大島高校、美祢青嶺高校、大津緑洋高校
[取組内容] 地域の特性を踏まえた、高校ならではの専門性の高い教育活動の展開（取組例）

- ・高校生の発想を生かした観光モデルコースや誘致プランの作成
- ・工業科の設備や技術を生かした地元のまつりの支援
- ・地元特産品を生かした商品開発による商店街等の活性化

■導入校による連絡会議の開催、取組の共有

特別支援学校コミュニティ・スクール推進事業

6,000

特別支援学校へコミュニティ・スクールを導入し、障害のある子どもの自立と社会参加や障害のある子どもへの理解を一層促進することにより、共生社会の形成を目指します。

■導入校の取組の充実・発展（宇部・下関）

地域との連携・協働による特色ある具体的取組の実施

■平成29年度導入校の取組推進（6校）

体制整備検討協議会による具体的な取組の協議

■平成30年度導入校の導入促進（4校）

導入に向けた、学校・家庭・地域の意識向上及び啓発

■特別支援教育フォーラムの開催

全コミュニティ・スクールの小中高担当者や地域住民等の特別支援教育への理解促進

[内 容] 好事例の発表、自立と社会参加に関するパネルディスカッション等

《1 地域や本県産業を担う人材の育成》

② ふるさとやまぐちを愛する心を育て定住意識の醸成につながるよう、小・中・高の各段階に応じた、郷土の理解や誇り等を育む教育を推進

新伝統・文化教育実践研究事業（学習指導要領趣旨徹底事業）

1,400

地域の伝統・文化を活用した教育活動のあり方の研究を行い、その成果の普及を通して郷土の理解や誇り等を育む教育を推進します。

■研究指定校による取組

[実施校] 小中高等学校7校

[取組例] 和太鼓、歌舞伎、神楽、剣舞、狂言 等

■県内への成果の普及

[実施内容]・伝統文化教育研究発表会（美祢市）

和太鼓の発表、他事例の紹介、講演会等

・リーフレット等の啓発資料の作成

拡やまぐち型地域連携教育強化推進事業【一部再掲】

(52,907の一部)

■やまぐち地域連携教育の集いの開催（県内7地域）

各地域で開催し、多くの保護者や地域住民が「やまぐち型地域連携教育」への理解を深める

[参加者] 地域住民、保護者、教職員、コーディネーター、山口CSコンダクター 等

[実施内容] 実践発表、講演、熟議 等

新ふるさとを愛する心の育成

子どもたちが、ふるさとの自然、歴史、伝統文化等に関する学習を深めることを通じて、ふるさとを愛する心の育成や、地域の担い手としての意識の高揚を図るとともに、各地域の代表校が、地域の特色を生かした取組をやまぐち地域連携教育の集いにおいて発表

拡「平成の松下村塾」づくり推進事業

8,452

明治維新を成し遂げた先人たちについて、世代を越えて学ぶ拠点として県セミナーパークを「平成の松下村塾」と位置付け、学習機会の提供や学習環境の整備を行うことにより、次代を創る子どもたちの「志」の醸成と「行動力」の育成を図ります。

新ふるさと学習ツアー「維新の志を訪ねて（仮称）」の実施

明治維新の時代を学ぶ機会として、先人ゆかりの地を訪れ、「ふるさとやまぐち」を学び「志」について考える機会を提供

[日程等] 春と夏の年2回開催（萩地域・下関地域）

[対象] 小学校4年生～6年生とその保護者

■「三世代交流教育講座」の開催

三世代で共に先人の志を学び、未来を創る子どもたちの「志」ある生き方について考える

[日程] 夏と秋の年2回開催

[対象] 小学校3年生～中学生を含む2～3世代家族 等

■「山口県の先人学習コーナー」の充実、Webページ「平成の松下村塾」の運営

新出前講座「平成の松下村塾（仮称）」の開催

先人についての学習情報とともに、「志」について考える道徳学習を提供する出前授業

ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業

1,140

中学生ふるさと民泊学習推進事業

2,460

中山間地域の民泊施設等を活用した、宿泊体験や自然体験活動、農林水産業に係る体験活動等を通して、ふるさとやまぐちを愛する心など、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育成します。

■小・中学校における中山間地域の民泊施設を活用した宿泊体験等

| 事業名 | ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業 | 中学生ふるさと民泊学習推進事業 |
|-------------|---|---|
| 対 象 | 小学生 | 中学生 |
| 目 的 | 自然体験活動等の実施により、児童にふるさとやまぐちを愛する心や他者を思いやる心を育む。 | 発達の段階に応じた農林水産業に係る体験活動等により、生徒の豊かな人間性や社会性を育む。 |
| 実施校 | 6校（224人） | 7校（246人） |
| 期 間 | 1泊2日以上 | 2泊3日以上 |
| 補助額 (上限) | 5,000円/人 | 9,000円/人 |

《1 地域や本県産業を担う人材の育成》

③ 児童生徒が将来の職業等の選択幅を広げることができるよう、本県産業や県内企業への関心と理解を深める教育活動を強化

キャリア教育総合推進事業

4, 205

児童生徒一人ひとりが夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育成する系統的・計画的なキャリア教育を推進します。

■キャリア教育実践事業

○キャリア教育推進会議の開催（学校、家庭、地域、産業界等の連携強化）

○キャリア教育実践セミナーの開催

教員、保護者、地域、産業界等を対象に、好事例の共有や連携した取組等について協議

■インターンシップ推進事業

○体験型インターンシップ

[実施内容] 地域の企業等において、学習内容や将来の進路希望に応じ、1週間程度の就業体験

○地域活性型インターンシップ

[実施内容] 主に普通科の生徒が、地域の企業や大学等と連携した研究・開発、地域活性化に向けた取組を実施（半年以上継続）

やまぐちの活力を支える高校生育成事業【一部再掲】

(69, 483 の一部)

○ 高校生やまぐち創生チャレンジ事業

各校がこれまで個別に取り組んできた産学公連携による現場実習・共同研究等の実績を踏まえ、充実されたカリキュラムを活用しながら、他校・他学科との連携を加え、各校単体では対応できなかった一貫性のある取組や実施内容の拡充・深化を図り、地域の課題解決につながる、より実践的な活動を展開します。

[対象校] 県立高校（職業に関する学科・総合学科）、県立特別支援学校（産業科）
9校（3校×3プロジェクト）

[想定例] 地域伝統工芸のブランド化と継承（工業・商業・家庭連携）等※H28取組例より

《1 地域や本県産業を担う人材の育成》

- ④ 児童生徒が自らの未来を主体的に切り拓いていけるよう、主体的に学習する態度を含めた確かな学力を育成するため、知識・技能を活用する学習や探究する学習を重視する取組を推進

やまぐちっ子学力向上推進事業

12,907

児童生徒の学力や学習状況を客観的、経年的に把握・分析し、課題解決に向けた指導方法の工夫改善や学校と家庭、地域が一体となった取組を通して、全国トップクラスの学力をめざします。

■学力向上検証改善プロジェクト

○「学力定着状況確認問題」の全県一斉実施

[実施学年] 小学校3年～中学校2年

[実施教科] 国語・算数/数学(小5で理科・社会、中2で理科・社会・英語を追加実施)

[実施時期] 10月

○検証・改善委員会による取組の検証

学力の状況や課題を分析し、学力向上の取組の検証と解決策を検討

■理科の学力向上に向けた課題解決実践研究事業

児童生徒の主体性を生かし協働的な学びを重視した理科授業モデルの構築と、全県への普及

[指定校] 小・中学校各3校

■課題解決に向けた授業改善研究事業

アクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究

[指定校] 小学校2校、中学校1校

■授業力向上プロジェクト

教員のキャリアステージに応じた研修と小中連携の促進

[実施内容] ・管理職、中堅教員、ベテラン教員、若手教員、市町教委指導主事それぞれを対象とした研修の実施

・7中学校区での小中連携実践研究

■「やまぐち学習支援プログラム」掲載問題の改訂

[対象教科等] 5教科(小学校1年～中学校3年)の自主学習用基本問題の改訂

■「山口県学力向上推進フォーラム」の開催

[対象者] 教職員、CS関係者、保護者、地域住民等

[実施内容] 公開授業、実践発表、学力向上に関する講話等 [開催時期] 11月

J A X A の衛星データを活用する拠点が本県に設置されることを受け、J A X A が有するデータ・ノウハウを活用し、子どもたちや様々な年齢層の県民を対象に「宇宙」を教材とした教育活動を実施します。

■やまぐちコズミックデー（シンボリックイベントの開催）

○宇宙飛行士等によるトークショー

○コズミックカレッジ

[対象] 小学校3年～中学校3年（60人）

[内容] 体験型の科学教室（バルーンロケットの制作等）

○宇宙教育リーダー養成セミナー

[対象] 社会教育施設職員、公民館主事 等（40人）

[内容] J A X A 宇宙教育センターから講師を招き、社会教育活動を行う人材を育成
年間3回 ※うち1回はコズミックカレッジのサポート役として参加

○宇宙教育に係る授業実践支援（教員研修）

[対象] 小学校・中学校教員（35人） [内容] 宇宙教育に係る理解促進及び教材開発

■J A X A スタッフによる授業の支援

[対象] 小学校2校、中学校1校、高校3校

[内容] 出前講座の実施

※高校においては「宇宙」を題材にした生徒課題研究を年間を通じて継続的に支援

■リモートセンシング等のJ A X A の資産を活用した課題研究指導支援（教員研修）

[対象] 高校教員（9人）

[内容] 課題研究の効果的な指導方法に関する講義・研究協議

■宇宙の学校

[対象] 5歳～小学校2年・保護者（20組40人）

[内容] 親子が一緒になって取り組む宇宙を素材にした体験型プログラム

■博物館J A X A 展示

[内容] J A X A 映像コーナーの新設、パネル展示 等

《2 若者の県内定着・環流の促進》

- ① 高校生の県内就職と地域産業を担うスペシャリストを育成するため、地元企業との連携による企業ニーズに即した実践的な職業教育等をさらに進めるとともに、平成30年度に本県で開催する全国産業教育フェアの成功に向けた取組を推進

(単位：千円)

【拡】やまぐちの活力を支える高校生育成事業

69,483

専門高校等において実践的な知識・技術の習得等を図ることにより、将来の県内産業を支える人材を育成するとともに、就職サポーター等の配置等による組織的な就職支援体制のもとで、生徒の主体的な県内就職・県内定住を促進します。

■県内就職の促進

○県内就職ガイダンス等充実事業

全ての高校生及びその保護者を対象に地域産業の魅力を知るセミナー等の実施

【新】地域産業魅力発見セミナー

1, 2年生を対象に、商工会議所、地元の中小企業等に就職した卒業生が、街の魅力や仕事のやりがい等について座談会方式で語り合う。

○県内就職サポーター等配置事業

個別の就職相談を踏まえた求人開拓や県内全域でのマッチング等により県内就職を支援

[就職サポーター] 25名 (公・私立)

- ・生徒や保護者に県内企業の魅力を提供
- ・生徒の意向に沿った求人開拓、マッチング

【新】2年生を対象に、個別面談により早い段階から県内企業の情報を提供

[チーフ就職サポーター] 3名

- ・各地域の求人情報を一元管理し、広域のマッチングを迅速に実施

【新】県外就職率の高い岩国、萩、下関へ配置

○県内企業訪問推進事業

生徒による職場見学及び教員等による求人開拓、卒業生の職場定着指導

○県内就職促進協議会の開催

進路指導担当教員等と県内企業の採用担当者等による情報交換 (5～6月、7地区)

○県内企業就職説明会等の開催

就職を希望する生徒と県内企業の採用担当者との面談 (10～11月、2回)

■産業人材の育成

○産業人材実地セミナー事業

複数の産業現場に赴き、現場で活躍する職業人と意見交換等を実施

[対 象] 県立高校 (職業に関する学科) 及び特別支援学校 (産業科) の1年生

○スキルアップ支援事業

生徒のスキルに合わせた技能習得や資格取得を支援 (50講座)

[対 象 校] 県立高校 (職業に関する学科、総合学科) 及び特別支援学校 (産業科)

○新産業教育フェアチャレンジ事業

平成30年に本県で開催される全国産業教育フェアにおいて上位入賞を目指す学校の支援

- ・競技力強化（ロボット競技、クッキングコンテスト、介護技術コンテスト 等）
[対象校] 専門高校等8校
- ・発表、展示に係る取組充実
[対象校] 専門高校等20校

○高校生やまぐち創生チャレンジ事業

企業や他学科及び他校と連携した地域創生につながる企画の立案・実施

(※) 事業の詳細はP6（＝一部再掲）に記載

[対象校] 専門高校等9校（1チーム3校×3プロジェクト）

《2 若者の県内定着・環流の促進》

- ② 高校生がその意欲や能力に応じ、県内大学等への主体的な進路選択につながるよう、県と大学等との連携強化による大学等の魅力向上や、高大連携による相互交流等を推進

拓 やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業

9,900

高校生の県内進学促進に向け、県内国公立大学等と連携を図りながら、県内大学等がもつ魅力やよさについて、広く高校生の理解を深めます。

■県内大学魅力発見プログラム

県内大学の魅力を知るための県内大学生と高校生によるディスカッションや、大学の学習内容・大学生活等に関する講話等の実施

[対象校] 6校程度（実施校は県内大学体験サポートも併せて実施）

※ NPO法人に委託を予定

■県内大学体験サポート

県内大学のオープンキャンパス・研究室訪問等の参加にかかる経費支援

[対象校] 14校

新 山口県で学ぶ「保育」「看護」セミナー

保育や看護を志す高校生の県内進学・県内就職を促進するため、保育・看護系の学科を設置している県内大学等の合同説明会を実施

[対象] 高校生とその保護者

[開催場所] 県央部

[開催時期] 10月下旬（予定）

新山口で学び、活躍する人材育成支援事業

(8,550の一部)

若者の県内定着に向けて、「大学リーグやまぐち」等と連携・協働を図りながら、高校生の県内進学
の促進や、大学生の県内就職の支援に取り組みます。

■県内進学情報の発信

県内高校生等を対象に、県内の大学や専修学校等各校の魅力や県内進学を支える制度などを
掲載した県内進学ガイドブックや、オープンキャンパスマップの作成・配布

[配布予定部数] 約16,000部 (県内高校生及びその保護者に配布)

■県内進学・仕事魅力発信フェアの開催 (県内高校1・2年生向け)

県内大学、専門学校等の研究成果や将来の就職情報などを交えた進路相談、県内の仕事紹介
等の実施

[参加予定者数] 約2,000人

《2 若者の県内定着・環流の促進》

- ③ 大学生等の県内就職・定着の促進に向け、COCプラス事業や県外大学との就職支援協定な
どを通じて、大学等と県内企業との連携を強化し、本県企業の特徴や魅力を学生に直接伝える
機会を拡大

新山口で学び、活躍する人材育成支援事業 (再掲)

(8,550の一部)

若者の県内定着に向けて、「大学リーグやまぐち」等と連携・協働を図りながら、高校生の県内
進学
の促進や、大学生の県内就職の支援に取り組みます。

■長期体験型インターンシップの促進

「大学リーグやまぐち就業体験支援員」の配置により長期体験型インターンシップを推進

■山口きらめき企業の魅力発見フェアの開催支援

県内の大学生や教職員等を対象に、県内企業の魅力の発見と県内企業への理解を深める「山
口きらめき企業の魅力発見フェア」の開催を支援

県内及び県外に進学した大学生等を対象に、県内の企業におけるインターンシップ等を総合的に推進することにより、学生に県内企業の魅力を伝えるとともに、県内への就職・定着促進を図ります。

■ **インターンシップ参加学生への旅費の助成**

インターンシップの参加に係る交通費・宿泊費を助成し、学生の参加を促進

※助成対象にCOCプラス事業で実施する課題解決型インターンシップを追加

[交通費(公共交通機関のみ)] 半額助成(上限3万円)

[宿泊費(食事代を除く)] 半額助成(上限1万2千円)

■ **県内企業とのマッチング機能の強化**

学生と県内企業とのマッチング機能の強化や受入先企業の新規開拓等によるきめ細かなマッチングを行うためのコーディネーターを配置

■ **学生・企業の要望を踏まえたインターンシップの充実**

学生・企業のニーズを反映したカリキュラムモデルの作成による受入先企業のインターンシップ内容の充実

■ **九州・山口共同インターンシップの実施**

東京圏の大学3年生等を対象に、九州・山口の地元企業へのインターンシップを実施するとともに、旅費の助成を実施

■ **企業見学ツアー参加学生への支援**

民間事業主体が実施する企業見学ツアーに参加する学生に対する交通費の助成によるツアー参加の促進

若者就職支援センターの機能を活用し、様々なツールによる県内企業の魅力情報の効果的な発信や雇用のミスマッチの解消に向けた若者と県内企業のマッチング支援の強化等により、県内中小企業等への若者の定着を促進します。

1 **県内企業の魅力情報の効果的な発信**

■ **「企業PR動画」の作成・発信**

県内のキラリと輝く中小企業等のPR動画を作成し、YouTubeや大手就職情報会社の山口県専用ホームページ等に掲載して情報発信(県内中小企業等30社)

■ **「やまぐち業界マップ」の作成・配布**

学生の業界研究や企業研究に活用できる県内企業の業界別の全体像をマップに示した冊子を作成・配布し、県内への就職を促進

■ **「やまぐち就職ライフデザイン設計書」の作成・配布**

山口と東京における職業人生のライフデザイン等を比較したリーフレットを作成・配布し、県内就職の魅力を情報発信

■ **「県内企業魅力体験レポート」の作成・配布**

県内大学生による企業研究・体験をレポートにまとめ、学生等の若者に対して企業の魅力を効果的に発信

2 若者と県内企業のマッチング支援の強化

■保護者向け「子どもの就職ハンドブック」の作成・配布

子どもの就職について親が知っておくべき情報や支援できる内容等を盛り込んだ冊子を作成・配布し、ミスマッチ等による離職を防止

■企業見学バスツアーや学内企業セミナーの開催

就職に強い影響力を持つ保護者等を対象とした企業見学バスツアーや低学年の大学生等を対象とした企業講師によるセミナーの開催

■企業サポーターの配置（3人）

中小企業等の魅力情報の収集、人材確保等への助言等を実施

■「やまぐち地域就職説明会」の開催（年1回、県内各地）

企業PR、若者と県内企業との出会いの場の提供

【拡】やまぐちUJIターン就職総合支援事業

（66, 202の一部）

本県出身の県外大学在学学生等の本県へのUJIターン就職を促進します。

■高校卒業時の若者就職支援センターへの登録促進

高校生向けにリーフレットを配布するなど、効果的に情報を提供し、高校卒業予定者の登録を促進

■県外大学との連携

締結した就職支援協定に基づき、Uターン就職を支援

■県内就職説明会への県外学生の参加促進

県内就職説明会への無料送迎バスを運行する取組を支援

■女子学生への支援強化

隣県（広島、福岡）での女子学生向けの就職ガイダンスの開催
女子学生向け県内就職促進パンフレットの作成・配布

■県外就職説明会の開催

東京・大阪での就職説明会を開催

■九州・山口共同での合同会社説明会の開催

東京圏の大学生及び転職希望者等を対象に、九州・山口の地元企業による合同会社説明会を東京で開催

《2 若者の県内定着・環流の促進》

- ④ 障害のある生徒の自立と社会参加を目指した実践的・専門的な職業教育の充実や、障害の多様化や重度・重複化に対応した教育環境の整備を推進

特別支援学校「山口県技能検定」開発事業

3,000

障害のある生徒の自立と社会参加に向けて、本県独自に「特別支援学校技能検定」を開発し、生徒の学習意欲の向上やコミュニケーション能力の育成、就労をのためのスキルの獲得等を図ります。

■特別支援学校技能検定「きらめき検定」の開発

特別支援学校の卒業生の就職状況や県内の企業等が求めるスキル等を踏まえた独自の技能検定を企業や関係団体等と連携の上開発・導入

[開発分野] H28：2分野（喫茶サービス、清掃）→H29：3分野（食品加工、介護、流通・サービス）

拡インクルーシブ教育システム推進事業

32,018

障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築に向けて、小・中学校への合理的配慮協力員の配置など特別支援教育の体制整備を図ります。

■合理的配慮協力員の拡充配置

特別な配慮を要する児童生徒に対し適切な合理的配慮の提供等を行う

[配置校] 県内14地域の小・中学校拠点校に配置

[実施内容] 校内体制の整備、合理的配慮の検討・提供・評価、研修会の実施 等

新医療的ケアを必要とする幼児・児童生徒の教育の充実

医療的ケアを必要とする幼児・児童生徒が、修学旅行等の校外活動に参加する機会を十分確保するため、学校看護師が同伴して支援

■就職支援コーディネーターの配置

高等部生徒の卒業後の自立や社会参加を促進するため、コーディネーターを県内3箇所配置し、現場実習先の確保や就職支援を実施

■外部専門家の活用による教育内容・指導等の充実

障害の重度・重複化、多様化に対応するための外部専門家（言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等）を招聘できる体制を整備

■特別支援教育体制整備の推進

各学校で特別支援教育推進の中心的役割を担う校内コーディネーターや特別支援教育センター間の連携強化等を担う地域コーディネーターの研修会、合理的配慮に関する協議会等を実施

■通級による指導担当教員等の専門性の充実（担当教員を対象とした研修や専門家の訪問支援等）

新特別支援学校教育力の向上

次期学習指導要領への対応を進めるため、教員で構成する教育課程研究協議会を設置

[内容] 3部会「自立活動の指導」「キャリア教育」「授業改善」において協議

高等学校における通級による指導（高校通級）の導入に向け、高等学校における体制の整備や指導・支援の方法等について研究するための実践研究事業を実施します。

■体制整備・組織強化についての研究

実践研究事業を行う高等学校を指定し、発達障害を含む障害のある生徒への特別支援教育を行うために必要なノウハウや学校運営のあり方について、専門家の参画により研究

[実施内容]・特別支援教育推進協議会の設置（学識経験者、医療関係者等の専門家）
・学校運営の研究（校内体制、指導形態、教育課程等の検討）

■指導・支援方法についての研究

実践研究校において専門人材等の協力により、生徒一人ひとりの能力・才能を伸ばす支援方法等について研究

[実施内容]・専門人材（言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等）と連携した研究
・モデル校での研究（障害の特性に応じた一斉指導の工夫等の検討、障害等による困難を軽減するための個別的な支援等の検討）

県立学校施設整備事業（総合支援学校教室不足対応・職業教育充実）

総合支援学校の児童生徒数の増加や職業教育の充実に対応するため、必要な施設整備を行います。

■田布施総合支援学校（旧田布施工業高校校舎）の普通教室棟他内部改修設計

■下関総合支援学校（下関中央工業高校校舎）の管理棟他内部改修設計 等

《3 安心・安全な教育環境づくり》

① 熊本地震など多発する地震災害に備えた安心・安全な学校づくりの推進

拡学校安全総合推進事業

3,916

「山口県学校安全推進計画」に基づき、「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全（防災）」の学校安全の取組を総合的かつ効果的に推進していくため、安全教育の充実、実践的な力の育成、学校・家庭・地域・関係機関等の連携による組織活動の充実を図ります。

■山口県学校安全推進計画に基づく取組の推進

[実施内容] 県立学校・市町教委を対象とした研修会の実施 等

拡地域ぐるみの学校防災総合推進事業

熊本地震等を踏まえ、学校と地域、市町防災部局との連携を強化し、迅速な避難所開設等に向け、災害発生時における児童生徒や地域の人々の安全に貢献できる体制づくり

- やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かした地域ぐるみの防災キャンプ
- 熊本地震等の防災ボランティア活動講演会
- 新**学校と市町防災部局等関係機関をつなぐ学校防災研修会

[対 象] 学校管理職、市町教委、市町防災部局

[実施内容] 実践的な防災訓練のあり方の研修、避難所の開設・運営に関する協議

- 専門家と連携した出前授業や防災アドバイザーの派遣
- 新**「自らの安全を守る力」確認ワーク（防災編）の作成

■子どもたちの安心安全総合推進事業

コミュニティ・スクール、地域協育ネットを活用した学校・家庭・地域が連携した防犯を含む生活安全、交通安全の取組

[対 象] 児童生徒、保護者、教職員、地域住民等

[実施内容] 学校運営協議会等による通学路の安全点検・安全マップづくり、通学路安全対策アドバイザーの派遣、通学路安全対策合同会議の開催、防犯教育研修会の実施、事故対応に係る研修会の実施

県立学校施設整備事業（耐震改築・老朽化対策等）

2,933,809

安全で快適な学習環境を整備するため、耐震対策後の校舎改築、施設・設備の老朽化対策や外壁改修等を行います。

- 周防大島高校（安下庄）普通教室棟他改築、宇部総合支援学校管理棟他改築、萩商工高校土木電気実習棟外壁改修、西京高校屋内プール棟改築、防府西高校屋内運動場屋根改修、岩国高校空調設備整備、新南陽高校防球ネット設置、岩国工業高校法面对策 等

私立学校耐震化促進事業

70,012

子どもの命を守り、地域の避難所としても機能する私立学校建物について、学校法人の実施する耐震化対策を促進し、防災体制の強化を図ります。

[対象施設] 2階以上又は200㎡以上の学校施設

[対象事業] 耐震診断、耐震補強、耐震改築、非構造部材耐震対策

いじめ・不登校等対策強化事業

196, 303

「山口県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期対応・いじめ解消率100%をめざす相談・支援体制の充実に図り、いじめや問題行動、不登校等の生徒指導上の諸課題に対する実効的な対策を強化します。

■スクールカウンセラー（SC）の配置

- 全ての公立学校の児童生徒がSCに相談できる体制の整備
- 児童生徒・保護者への専門的カウンセリングや心理教育、教職員への校内研修等を実施

《**拡**教育相談体制の充実》

中学校区単位でSCを配置し、コミュニティ・スクール等の仕組みを生かしながら、小中連携により、SCを中核とした義務教育9年間の切れ目のない支援体制を構築

■全市町へのスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置支援

■エリア・スーパーバイザー（エリアSV）の配置

市町配置のSSWへの指導・援助や学校いじめ対策組織への指導・助言を実施

■ファミリー・リレーションシップ・アドバイザー（FRアドバイザー）の派遣

学校だけでは解決困難な事案について医師、弁護士等の専門家を派遣

■いじめの重大事態（不登校）に係る外部専門家による児童生徒支援

不登校事案等に対してSC、SSW等の専門家を派遣し、心のケア・早期復帰を支援

■「山口県いじめ問題対策協議会」による県内の関係団体・機関の連携強化

■「山口県いじめ問題調査委員会」の設置

県立学校においていじめの重大事態が発生した場合に、事実関係を明らかにし、同種の事案の発生を防止するため、中立的な立場の専門家による調査委員会を設置

■いじめ・不登校の未然防止等にむけた調査研究事業

不登校児童生徒へのきめ細かな支援体制の整備に向けた実践研究等を実施

■「子どもの未来を考えるフォーラム」の開催（諸問題の解決に向けた意識啓発）

■大学と連携したネット出前授業の実施（ネットトラブル、ネットいじめ未然防止）